

さくちゅう

桜山中だより

1月

「苦しい時が上り坂」

名古屋市立桜山中中学校長
久林 直美

3学期が始まりました。今年もよろしくお願いいたします。

みなさんの冬休みの過ごし方はどうだったのでしょうか。3学期は学年末です。一年間の集大成です。さらに、3年生は卒業という大きな節目を迎えます。始業式は、コロナ感染拡大が懸念されていたため、放送による式でした。みなさんの表情が見えないので、様子は分かりにくいですが、朝、校門で挨拶を交わすことができたので、元気な姿や笑顔のみなさんを想像することができました。少しほっとしました。

冬休みはいわゆるお正月ムードで、規則正しい生活からかけ離れてしまっていた人もいると思います。2学期の終業式に話した「苦しい時が上り坂」の話から、冬休みを振り返りました。

振り返りは、①上り坂②下り坂③平坦な道④まさかの4つからの選択でした。

みなさんそれぞれ振り返っていましたが、その振り返りは何のために行ったのでしょうか。冬休みとは言え、自分の行動を、良くも悪くも冷静に捉えることができれば、3学期には何に向き合って行動するのか、課題が明確になったり、学年末の締めくり方が自ずと分かってきたりすると思います。

「苦しいなー」「大変だなー」と思っている人、「苦しい時が上り坂」です。大変な状況が続いていますが、桜山中生、みなさんで令和3年度をしっかりと締めくりましょう。次のスタートのために。